

## まとめ

法政大学大学院教授  
横浜国立大学名誉教授  
エンジンバラ大学客員教授  
バランス スコアカード研究会会長  
吉川 武男氏



本日の5人の講師には、様々な視点から価値創造経営について語っていただき、非常に参考になる内容だった。

私は、キャブラン教授が1992年に発表した当初からバランス・スコアカード(BSC)に携わっている。日本的経営は、「お客様は神様」と言うように、顧客の視点を大切に、「企業は人なり」と言うように人材と変革の視点や業務プロセスの視点を重視している。従って、BSCは日本的経営そのもので、日本企業にとって導入し易い経営手法だ。近年は、企業だけでなく、行政や病院等にも導入が広がり始めている。BSCの導入成果を最大限に出すためには、企業経営や行政や病院経営等の状況に応じて、自分達でアレンジしていく事が必要不可欠だ。この事からも、本日の講演者の意見に多いに賛同する。

近年、中国やインドを始めとするアジア企業の台頭が目覚ましい。私自身もマレーシアやシンガポール、中国などでの指導要請があり、今年は初めてイランに行く。こうしたアジア諸国の熱心さに触れると、正直、日本企業の取り組み姿勢が心配になる事も多々ある。

BSCや価値創造経営は、今日の日本の企業をはじめ、あらゆる組織に有益かつ必要不可欠な経営手法と言えよう。是非、積極的に取り組んでほしい。

